

## ■ 基調報告者



金容徳 (KIM Yongdeok)

ソウル大学国際大学院長・教授

1970年ソウル大学大学院アジア史研究科修士号取得。1979年ハーバード大学大学院人文科学研究科修了, Ph.D. 取得。2003年より現職。主な著書に *Meiji Land Tax Reform* (in Korean, Ilchogak, 1989), *Perspectives on the Modern Japanese History* (in Korean, Chisiksanopsa, 1991), *Modernization of Japan in 19th Century* (Co-author, in Korean, Seoul National University Press, 1996), 『近代交流史と相互認識 I』(「日韓共同研究叢書 2」, 共編, 慶応義塾大学出版会, 2001) がある。



ラインハルト・ドリフテ (Reinhard DRIFTE)

ロンドン大学 LSE 客員フェロー, ニューキャッスル大学名誉教授

1979年西ドイツルール大学博士学位取得。1980年からスイス国際問題研究所研究員, ロンドン国際戦略研究所所長補佐, ニューキャッスル大学東アジア研究センター長, 同大学日本研究会会長などを歴任。主な研究分野は日本外交, 安全保障政策及び北東アジア地域安全保障と軍縮。主な著書に *Japan's Quest for a Permanent Security Council Seat: A Matter of Pride or Justice?* (London: Macmillan/St. Antony's College, 1999, 邦訳, 『国連安保理と日本』岩波書店, 2000), *Japan's Security Relations with China since 1989: From Balancing to Bandwagoning?* (Oxford/London: Nissan Institute/Routledge Japanese Studies Series, 2003) などがある。

## 【論文参加】

楊大慶 (YANG Daqing)

ジョージワシントン大学歴史学部准教授

ハーバード大学博士課程修了, 博士学位取得。主な研究分野は太平洋戦史, 戦後日本—アジア関係史, 国家和解。主な著書・論文に, *Technology of Empire* (Co-author), 「日中両国の和解—その問題点と展望」『日本の戦争責任をどう考えるか』(朝日新聞社, 2001), 「歴史家への挑戦: 南京大虐殺をめぐる」(『思想』890, 1998) などがある。



馮昭奎 (FENG Zhaokui)

中国社会科学院研究員, 元中国科学院日本研究所副所長

清華大学卒。2000年まで中国社会科学院日本研究所研究員, 同所経済研究室主任, 副所長を歴任。中国全国日本経済学会副会長, 中国中日関係史副会長, 中日科技與經濟交流協會常務理事。主な研究分野は戦後日中関係史。主な著書に『対話: 北京與東京』(新華出版社, 1999), 『日本經濟』(高等教育出版社, 1998), 『新工業文明』(中信出版社, 1991) などがある。



加々美光行 (KAGAMI Mitsuyuki)

愛知大学国際中国学研究センター所長・現代中国学部教授 [国際中国学研究センターCOE 拠点リーダー]

東京大学文学部卒。アジア経済研究所主任研究員, 愛知大学法学部教授を経て, 1997年より現代中国学部教授。2002年10月, 文部科学省「21世紀 COE プログラム」採択に伴い COE 拠点リーダー・国際中国学研究センター所長。この間, 現代中国学部長, 大学院中

国研究科長などを歴任。主な研究分野は現代中国政治、中国政治思想。主な著書に『逆説としての中国——反近代化精神の敗北』(田畑書店, 1986), 『知られざる祈り——中国の民族問題』(新評論, 1992), 『歴史の中の文化大革命』(岩波現代文庫, 2001) などがある。

■パネリスト.....



高原明生 (TAKAHARA Akio)

立教大学法学部教授

東京大学法学部卒, サセックス大学開発問題研究所修士課程修了, 同博士課程修了 (Ph.D.)。笹川平和財団研究員, 在香港日本国総領事館専門調査員, 桜美林大学国際学部専任講師, 同学部助教授, 立教大学法学部助教授を経て, 2000年より現職。1996~98年在中国日本大使館専門調査員。主な研究分野は現代中国政治, 東アジアの国際関係。主な著書に *The Politics of Wage Policy in Post-Revolutionary China* (Macmillan, 1992), 『「中国」の時代』(共著, 三田出版会, 1995), 『毛沢東, 鄧小平, そして江沢民』(共著, 東洋経済新報社, 1999) などがある。



朱建榮 (ZHU Jianrong)

東洋学園大学人文学部教授

1957年上海生まれ。中国・華東師範大学卒。1986年来日, 東洋女子短期大学助教授などを経て, 1996年より現職。主な研究分野は中国現代史, 現代中国政治, アジア国際関係。主な著書に『毛沢東の朝鮮戦争』(岩波書店, 1991; 現代文庫版, 2001), 『毛沢東のベトナム戦争』(東京大学出版会, 2001), 『中国 第三の革命』(中公新書, 2002) などがある。



楊棟梁 (YANG Dongliang)

南開大学日本研究院長, 愛知大学 COE 訪問教授

南開大学大学院歴史系博士課程修了。歴史学博士。同大歴史研究所副所長, 日本研究センター所長を経て, 2003年同大日本研究院長。2004年9月から愛知大学COE訪問教授を兼任。主な研究分野は日本近現代史, 経済史。主な著書に『国家権力と経済発展——日本戦後産業合理化政策研究』(1998), 『近代以来日本経済体制変革研究』(2003) などがある。



国分良成 (KOKUBUN Ryosei)

慶応義塾大学法学部教授・同大学東アジア研究所長

1981年慶応義塾大学大学院政治学専攻博士課程修了。法学博士。慶応義塾大学法学部専任講師, 助教授を経て1992年から教授, 1999年同大学地域研究センター所長(2003年東アジア研究所に改名)。この間, ハーバード大, ミシガン大, 復旦大, 北京大, 台湾大の客員研究員を歴任。主な研究分野は現代中国政治・外交と東アジアの国際関係。アジア政経学会, 日本国際政治学会, 日本現代中国学会, 日本比較政治学会の各理事, *The China Quarterly* 誌編集委員, 新日中友好21世紀委員会委員・秘書長。主な著書に『現代中国の政治と官僚制』(慶応義塾大学出版会, 2004), 『中華人民共和国』(ちくま新書, 1999), 『アジア時代の検証 中国の視点から』(朝日選書, 1996), 『中国政治と民主化』(サイマル出版会, 1992) などがある。



三船恵美 (MIFUNE Emi)

中部大学国際関係学部助教授

学習院大学大学院政治学研究科博士後期課程修了。博士（政治学）。主な研究分野は中国政治論，中国外交論。主な著書・論文に『アジアの安全保障2004-2005』（共著，朝雲新聞社，2004），「中国の多辺外交戦略と中日関係の戦略的転機」（『21世紀中日関係発展講想』世界知識社（北京），2004）などがある。



川島 真 (KAWASHIMA Shin)

北海道大学大学院法学研究科助教授，国際日本文化研究センター客員助教授

東京外国語大学中国語学科卒。東京大学大学院人文社会系研究科修士課程，同博士課程（東洋史学），日本学術振興会特別研究員（DC・PC）を経て，1998年から現職（アジア政治論・アジア政治史担当）。博士（文学）。中央研究院近代史研究所（台湾），国立台湾大学社会科学院政治系，北京日本学術研究センターなどで在外研究。主な研究分野はアジア政治外交史。主な著書に，『中国近代外交の形成』（名古屋大学出版会，2004），『台湾における日本研究』（交流協会，2003），『周辺から見た20世紀中国——日・韓・台・港・中の対話』（共編，中国書店，2002）などがある。

■コーディネーター .....



砂山幸雄 (SUNAYAMA Yukio)

愛知大学現代中国学部教授

東京大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得退学。東京大学教養学部助手，愛知県立大学外国語学部助教授を経て，2003年より現職。1999年から1年間，北京日本学術研究センター副主任を務める。主な研究分野は現代中国の政治思想・イデオロギー分析。主な著書に『もっと知りたい中国——政治・経済編』（共著，弘文堂，1991），『二十一世紀の民族と国家』（共著，日本経済新聞社，1993），『近代中国の思索者たち』（大修館書店，1998）などがある。